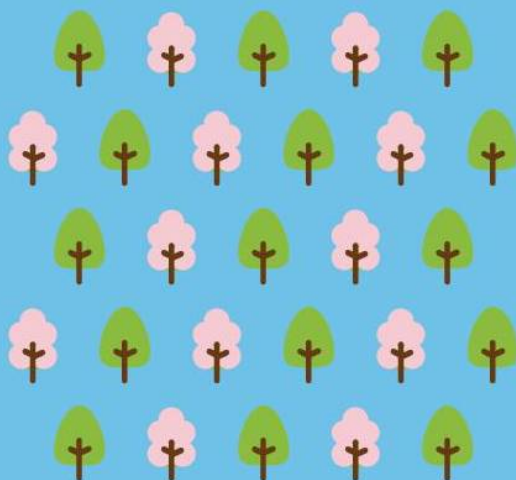




設楽町人口ビジョン 総合戦略

概要版

ほっとしたら～ のんびりしたら～



平成28年3月 設楽町

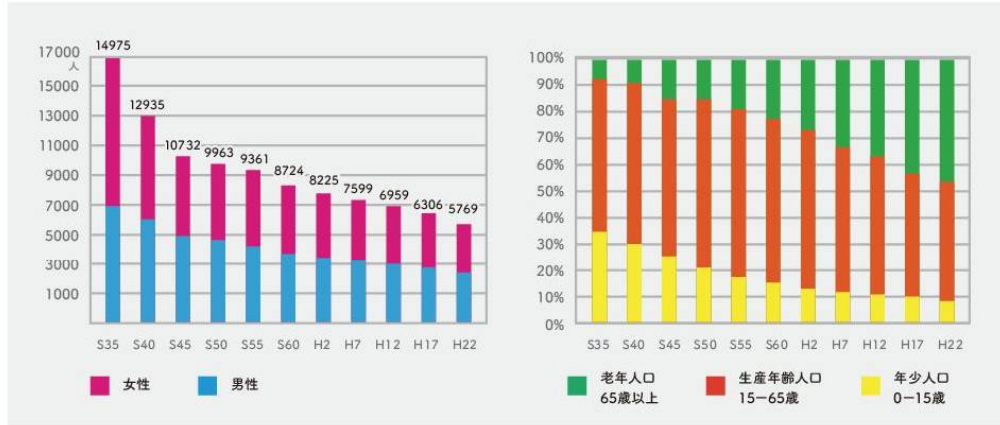


設楽町の人口ビジョン



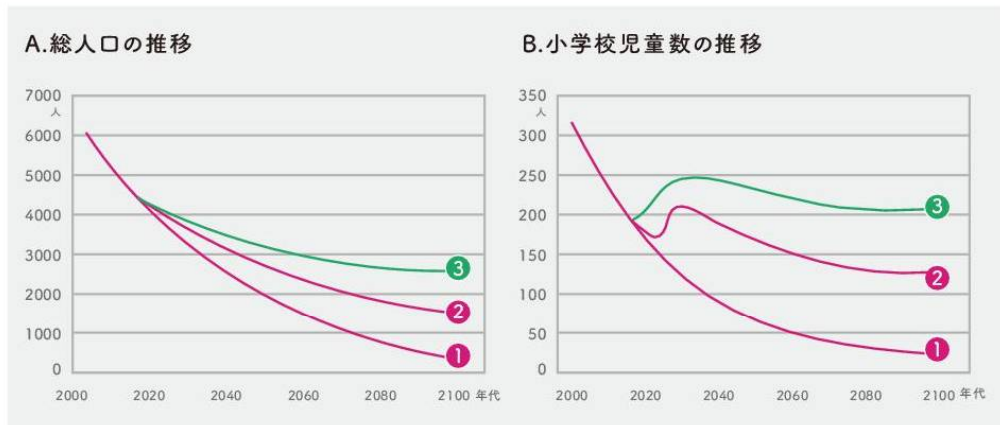
人口の推移

昭和35年には約15,000人だった人口は平成22年には5,700人にまで減少し、年少人口は平成22年に1割を下回り、老年人口は平成17年以降4割を超え、少子高齢化が進んでいます。



今後の人口見込み

今後も人口の減少が見込まれ、2005年-2010年の人口の推移をもとにA・Bそれぞれ3つのパターンにより推計を行いました。



① 現状維持の場合

人口減少は止まらず、2040年には人口は2,500人程度が見込まれ、小学校児童数は2040年頃に町内で100人を下回ると予測されます。

② 毎年5世帯の移住がある場合

人口減少が緩やかになり、小学校児童数も一度上昇しますが、2040年には、現状を少し下回り、その後も徐々に減少していきます。

③ 毎年10世帯の移住がある場合

人口はおおよそ3,000人で減少が止まり、小学校児童数は200人程度で推移していきます。

これを目指します



設楽町では、町がこれから先も元気であり続けるために、現在住んでいる方の定住を促しつつ、他地域からの子育て世帯(毎年10世帯)を迎え入れていくことで、人口減少問題に取り組んでいきます。



年間10世帯(子育て世帯)の移住者を確保する

2060年に設楽町人口3,000人を目指す



名倉地区

目標とする移住世帯数

2世帯/年

清嶺地区

目標とする移住世帯数

1世帯/年

津具地区

目標とする移住世帯数

2世帯/年

田口地区

目標とする移住世帯数

5世帯/年

—— 各地区の特色を活かしたまちづくりの推進、持続可能なまちづくり ——

4つの地区での取り組みが始まっています!



各小学校区（田峯、清嶺小学校は合同）ごとに、それぞれ3回の住民意見交換会を経て、移住定住を進めていく推進委員会（仮称）の組織づくりが進められています。

名倉地区

移住定住推進委員会のメンバーが決まり、若手による会（名倉未来創造協議会）も結成されました。



清嶺地区

移住定住推進委員会の設立に向けた話し合いが進められています。



津具地区

地域を元気にする活動を行う団体（津具どっこい（tsugu.coi））が結成されました。



田口地区

移住定住推進委員会の設立に向けた話し合いが進み、若手の会（たあぐっちお。）も結成されました。



それぞれの具体的な取り組み、数値目標については企画ダム対策課にお問い合わせ下さい。

TEL | 0536-62-0514 FAX | 0536-62-1675 E-Mail | kikaku@town.shitara.lg.jp
<http://www.town.shitara.aichi.jp/>